

研究実施のお知らせ

2024 年 10 月 7 日 Ver1.0

研究課題名

局在診断困難な原発性副甲状腺機能亢進症症例の特徴に関する検討（後向き）

研究の対象となる方

2012 年 1 月から 2024 年 9 月までの間に島根大学医学部附属病院内分泌代謝内科に入院し、原発性副甲状腺機能亢進症と診断された方。

研究の目的・意義

原発性副甲状腺機能亢進症の患者さんで、その原因となる副甲状腺の同定ができなかった患者さんの特徴に関して解析します。原発性副甲状腺機能亢進症は、原因となる副甲状腺が同定できれば手術加療が推奨されていますが、その同定が困難な患者さんもおられます。手術ができない方に関しては、高カルシウム血症や骨粗鬆症などの管理が難しい場合があります。このため、原因となる副甲状腺の同定が困難な原発性副甲状腺機能亢進症の患者さんの特徴が明らかとなれば、リスクの高い患者さんを把握し、早期の治療介入をし、これにより原発性副甲状腺機能亢進症に伴う合併症を予防することが可能となると考えられます。

研究の方法

- 原発性副甲状腺機能亢進症の方に関して、過去のカルテ記載を確認して、以下の項目を集積させていただきます。

診療録より：

年齢、性別、身長、体重、血圧、喫煙歴、飲酒歴、既往歴、薬の内容

血液・尿検査結果より：

肝機能、腎機能、電解質、糖代謝指標、脂質、炎症反応、内分泌学的指標、尿中電解質、尿細管障害マーカー

甲状腺エコー結果、CT 画像、99mTc-MIBI シンチグラフィ画像、MRI 画像

骨密度結果

- 原発性副甲状腺機能亢進症患者さんを、原因となる副甲状腺が同定できた群とできなかった群に分け、2 群間で採血や各検査結果を比較して、原因となる副甲状腺が同定できなかった群ではどのような特徴があるのかについて検討します。

・個人情報に関しては、本研究のみを目的に使用します。解析、公表の際にも個人が同定できないようにカルテより情報を集積します。

研究の期間

2024 年 11 月(研究許可後)～2026 年 3 月

研究組織

この研究は島根大学医学部内科学講座内科学第一が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部内科学講座内科学第一 竹谷 海

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2025 年 3 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部内科学講座内科学第一 竹谷 海

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2183 FAX 0853-23-8650